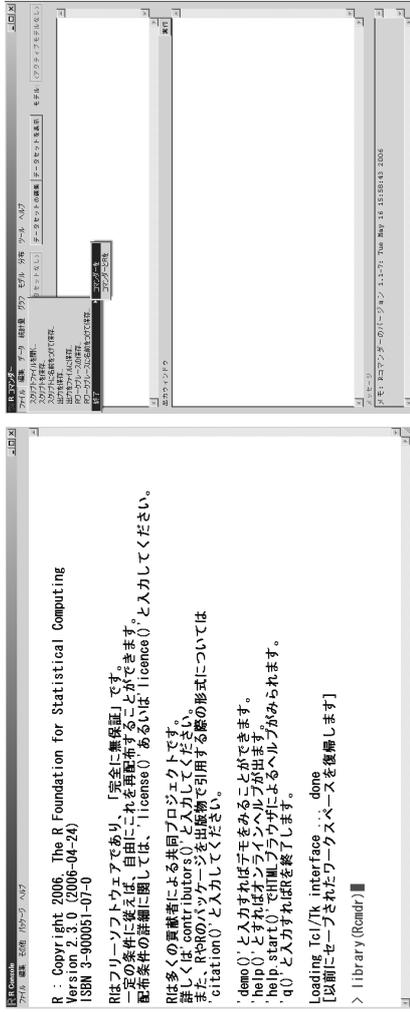
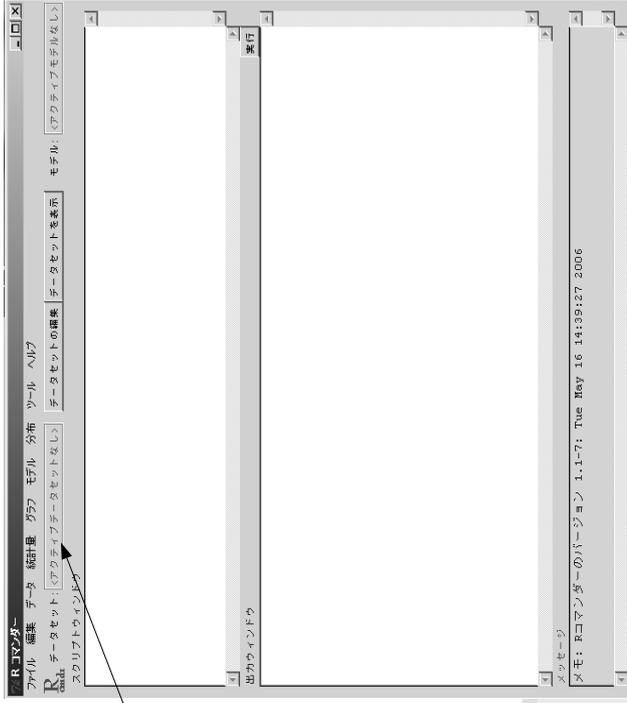


# Rcmdr の起動と終了



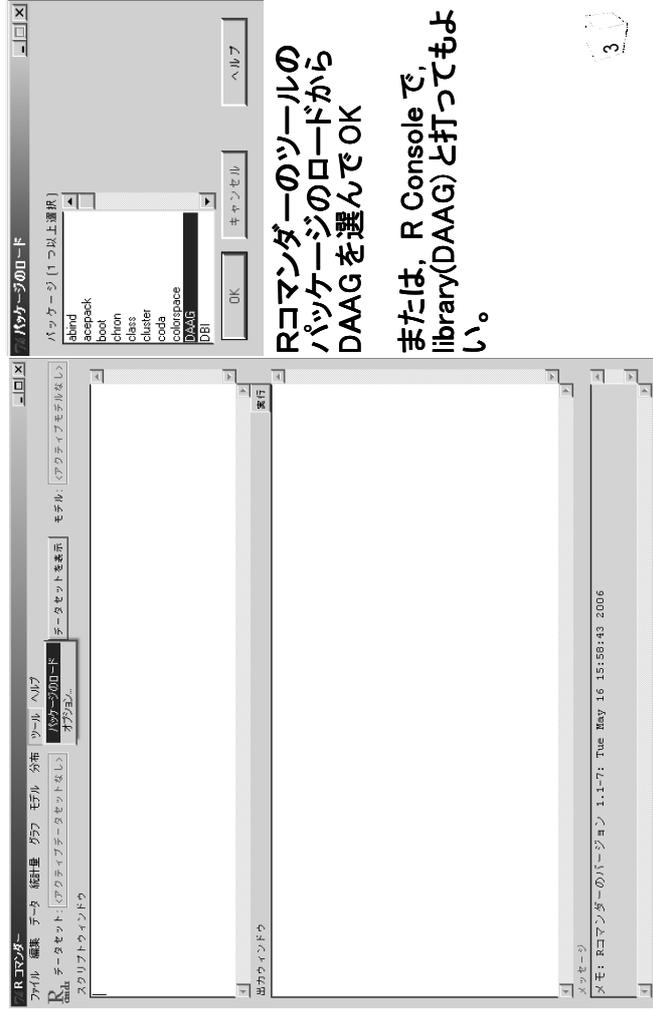
R を起動後、最初に使うときは、左図のように、library(Rcmdr)と打つと、R コマンドーの Window が起動する(画面は日本語版)。終了時は右図のように、ファイル→終了→コマンドーを終了とアウトプットを保存するか聞いてくるので、必要なら保存する(作業ディレクトリ=規定値は My Document =に保存される)。もう一度起動したいときは、detach("package:Rcmdr")として、一度アンロードしてから library(Rcmdr)としないといけない。

# Rcmdr の起動直後の画面



ここが、「アクティブ データセットなし」となっている

# ライブラリをアタッチする(例: DAAG)



Rコマンドーのツールボックスのロードから DAAG を選んで OK

または、R Console で、library(DAAG)と打つてもよい。

# Rcmdr で組み込みデータを読み込む



参考: ファイルから読み込む場合は、予めタブ区切りテキスト形式のファイルを作っておき、データ→データからインポート→テキストファイルから→データポート→テキストファイルから→データフレーム名を決め(規定値は Dataset)、フィールドの区切り記号を「タブ」に→ファイルを選択(URL も打てる)

